

表3 一般演題領域別頻度 (n=398)

領域	演題数 (題)
1. 「心理 (精神) 療法」 関係	82 (60+22)
1. 「精神・神経科」 領域	82 (43+39)
3. 「産婦人科」 領域	58 (45+13)
4. 「内分泌・代謝・栄養」 関連	42 (26+16)
5. 「消化器」 系	28 (23+ 5)
5. 「心理状態」 関連	28 (15+13)
7. 「心理テスト」 関連	17 (16+ 1)
8. 「呼吸器」 系	5 (5+ 0)
その他	56 (47+ 9)

演題数 (前期24年間演題数+後期9年間演題数)

法、摂食障害・食行動異常などが急増し、時代の病
理を感じさせる。

一般演題を鳥瞰すると道内心身医学の特徴がある
程度浮かび上がる。すなわち、分野別の医療者層に
偏りがあって、心理 (精神) 療法関係、精神・神経
科分野、産婦人科心身医学は医療者の層が厚いが、
一方、心身症の少なくないはずの呼吸器系、循環器
系領域は極めて手薄である。また、心身医学 (医療)
が個人技で実践されている傾向があり、治療担当者
の引退あるいは研究テーマの変更で容易に治療戦
略・治療環境が変化してしまう。

このような現象は、多分に会員数の少なさとも関
連しているが、医療の谷間で戸惑っている多くの心
身症患者を思うとき、現状の是正に向けた努力が道
支部に与えられた今後の課題でもあろう。このため
にも、幅広い領域にわたる諸先生方の道支部への
ご参加、ご協力、ご指導を心から願っている。

(追記 心身医学の一層の浸透、啓発、研鑽を目的
に、平成3年より道心身医学会例会当日に心身医学教
育講演会が開催されている)。

表4 一般演題テーマ別頻度 (n=398、上位10位)

テーマ	演題数 (題)
1. 摂食障害・食行動異常	27 (17+10)
2. 妊娠・分娩	26 (18+ 8)
3. うつ・うつ関連	20 (11+ 9)
4. 認知・認知行動療法	18 (9+ 9)
5. 慢性疼痛	14 (3+11)
6. 絶食療法	13 (10+ 3)
6. 婦人更年期	13 (10+ 3)
6. bio-feedback療法	13 (13+ 0)
9. 消化性潰瘍	11 (9+ 2)
10. 婦人心身症	9 (6+ 3)

演題数 (前期24年間演題数+後期9年間演題数)

引用文献

- 1) 山下 格：精神生理学的基盤. 現代精神医学体系
第7巻A心身疾患 I. 37-68、中山書店、1979
- 2) 水島和雄・他：実験的急性胃病変. 胃と腸13(2)：
223-232, 1978
- 3) 並木正義：遺伝的素因よりみた消化性潰瘍. 最新
消化性潰瘍要覧 (松尾裕監修), 425-427, R & D プ
ランニング, 1987
- 4) 久村正也：演題からみた北海道の心身医学—日本
心身医学会北海道支部の25年—, 北海道医報949,
14-16, 2000

参考文献

- ・ 諏訪望教授開講20周年記念教室業績集、北海道大
学医学部精神医学教室、1969
- ・ 山下 格：情動の精神生理—心身医学の生理的意
義—, 金原出版、東京、1970
- ・ 奥瀬 哲：北の大地の心療内科から. 女子栄養大
学出版部、東京、1999

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、国会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン
操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとし
た疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

- パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
- プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
- 光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
- エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
- サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター (平日 8:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:30)

○TEL: 011-738-3401

○E-mail: support@hokkaido.med.or.jp